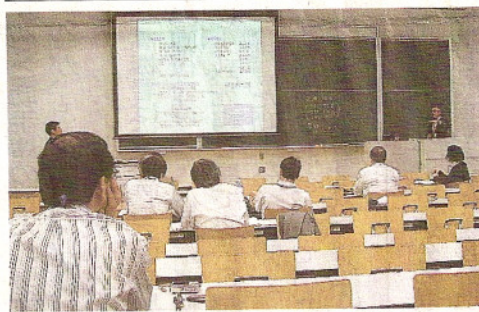


2009年7月12日(日):信濃毎日新聞朝刊に掲載!



地域活性化学会で 大町の事例発表

地域活性化のための人材育成や政策提言を目指す「地域活性化学会」の第1回研究大会が11日、東京都千代田区の法

政大学で開かれ、大町市でアウトドアスポーツのイベントを続ける矢口正武さん(62)が東京都が取り組み事例を発表した。写真。

2000年からマウンテンバイクやカヤックを使った「冒険遊び」を自らを含むスタッフ7人で運営。参加者による経済効果について「参加者は平均1万5千円から2万円使った。年計300万円は地元で落ちている」とした。

3、4年前から協力してくれる地元住民が現れたことや、イベント告知を目的に大町市産の米や野菜などを03年に都内で売り始めたところ、好評を得ている波及効果も紹介した。矢口さんは「イベントを通して都市と地方の交流は進んでいる」と話した。